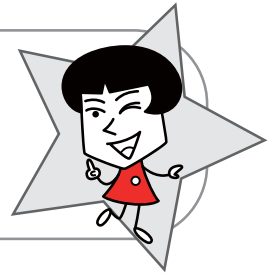


本時のねらいと展開
「わたしはプリマドンナ」

時々迷々
ときどきまよまよ



1. 本時のねらい

ミドリとトモコの気持ちの交流について考えることを通して、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする態度を養う。

2. 本時の展開

学習活動	指導上の留意点
<p>◆「わたしはプリマドンナ」を視聴して話し合う。</p>	
<p>発問①「授業中、『思いやり……か』と呟いたミドリは、どんなことを考えていたでしょう」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・トモコちゃんにもっと優しくした方がいいのかなあ。 ・自分のことだけで精一杯だから、トモコちゃんのことを心配する余裕はない。 ・早く連続回転ができるようにならなければ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トモコのことを気かけながらも、自分のことで精一杯なミドリの気持ちを理解させる。
<p>発問②「なぜトモコは、ミドリに連続回転を教えたのでしょうか」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・先生に叱られているミドリがかわいそうだったから。 ・たとえ自分が出られなくても、発表会を成功させたかったから。 ・正々堂々とミドリと競争したかったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書かせる。 ・ケガで主役ができなくなったにもかかわらず、自分の代わりに主役をやることになったミドリに回転のコツを教えるトモコの優しさについて考えさせる。
<p>発問③「バレエ教室の帰り道、自転車に乗せてあげたトモコに『ありがとう』と言われたミドリは、どんなことを心の中で呟いたでしょう」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・私は自分が主役になることばかり考えていて、トモコちゃんのことをあまり考えていなかった。 ・トモコは自分と比べて、なんて優しいのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トモコの優しさに心を動かすミドリに共感させる。
<p>発問④「もし自分がトモコだったら、ミドリに連続回転を教えますか」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・教える 困っている人がいたら、助けてあげたいから。 ・教えない 足の怪我が治ったら、主役をやりたいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書かせる。 ・自分の問題として考えさせる。